

# 自然環境調査計画業務〔予算額 11,003千円〕

環境部環境保全課  
自然共生班(23-6476)

財源内訳 財産収入 150千円、一般財源 10,853千円

支出内訳 4款3項2目 環境推進費／委員報酬 450千円、委員報償金 203千円、費用弁償 33千円、印刷製本費 71千円、自然環境調査委託料 1,877千円、指定希少種選定検討委託料 864千円、保全計画策定委託料 1,988千円、野鳥実態調査委託料 5,517千円

## 新規事業

### 野鳥保護管理指針策定業務

岡崎鳥獣保護区の次回の更新が平成 30 年度に行われることを機に、市内における野鳥の生息調査を行い、学識経験者による検討会の意見を聞き、本市の野鳥の保護管理に関する基本的な施策の方針を定めます。



ハクセキレイ

### シロバイ保全計画検討業務

愛知県内では岡崎市にのみ自生する「シロバイ」の基礎調査を行い、岡崎市自然環境保全条例に基づく指定希少野生動植物種の指定について検討をします。



シロバイ

## 継続事業

### 岡崎市版レッドリスト更新検討業務

岡崎市版レッドリストの更新を平成 29 年度に行うため、市内に生息・生育するレッドリスト掲載種について、学識経験者による見直しの検討をします。



ホトケドジョウ

### 自然環境定期観察調査業務

岡崎市の指定希少野生動植物種に指定されている「ギフチョウ」を始め、市内に生息・生育する希少な野生動植物の定期的なモニタリングを実施します。



ギフチョウ

# 新エネルギーシステム設置等補助業務〔予算額 86,300千円〕

環境部環境総務課  
地球温暖化対策班(23-6685)

財源内訳 県支出金 8,985千円、一般財源 77,315千円

支出内訳 4款3項2目 環境推進費／住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金 71,300千円、次世代自動車購入費補助金 15,000千円

市域から排出される温室効果ガスの抑制のため、太陽光発電設備などの住宅用地球温暖化対策設備の設置及び燃料電池自動車などの次世代自動車の購入を支援します。



## 補助内容

名称	対象設備	補助金額	対象者	補助予定数
住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金	住宅用太陽光発電設備	1kw 当たり 2万円 (上限 8万円)	個人	700件
	家庭用燃料電池設備	対象経費の5% (上限 7万円)	個人	70基
	家庭用エネルギー管理システム (HEMS)	対象経費25% (上限 1万5千円)	個人	(150基→) 160基
	定置用リチウムイオン蓄電池	対象経費の5% (上限 8万円)	個人	100基
次世代自動車購入費補助金	燃料電池自動車 (FCV)	対象経費の5% (上限 30万円)	個人・事業者	(5台→) 10台
	電気自動車 プラグインハイブリッド車	対象経費の5% (上限 8万円)	個人・事業者	(120台→) 150台